



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社は、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿冊(図書カード500円)を差し送らせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5820

いいかぶ

検索



宛メールにより URL 自動返信 kabu@wjmt.jp へ宛メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが自動的に自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。



2016 Business Report

第71期

報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

証券コード 5820



企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様と共に歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガasket類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、更なる取り組みを推進しています。



電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

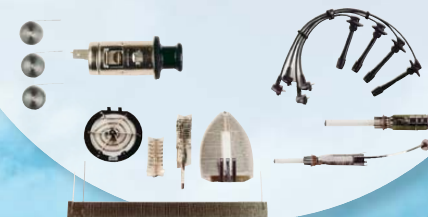
多彩な製品ラインナップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインナップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第71期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

塚本聡一郎



Q 事業の概況を教えてください

A 当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、現状は次第に不透明感が増してきているものと思われます。輸出・生産は上向きつつあり、雇用・所得が堅調な推移にある反面、個人消費は弱含みが続いています。

為替市場をみると、足元では対ドルに対し円高が進んできており、また海外の経済状況も中国をはじめ、新興国の景気減速感が強まり、これまで世界経済の牽引役を果たしてきた米国経済の伸びも遅減してきており、世界的にも不透明感が増し、慎重な対応を迫られてきております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、海外経済の減速などを受けて企業収益の伸びが足踏みするなか、設備投資計画は、前年同期比で上期は増加基調で推移しましたが下期は減少基調となりました。雇用・所得環境は緩やかな増加基調を維持していますが、個人消費は弱含んでいます。

新設住宅着工戸数は、持ち直しの動きがみられました。公共投資は、高水準ながら緩やかな減少傾向にあります。また、主

要な原材料である銅およびニッケルにつきましては、LME銅相場、LMEニッケル相場ともに低下傾向で推移しました。

このような状況のなか、新規得意先の開拓および既存得意先の深耕、新製品開発の推進、そして徹底した合理化によるコスト削減等の展開を図りました。

その結果、当連結会計年度の売上高は9,434百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

利益面につきましては、電線事業およびポリマテック事業においては前年同期比増加したことでグループ全体での営業利益は253百万円(前年同期比135.5%増)となりました。海外子会社での為替差損25百万円が発生したことにより、経常利益は、219百万円(前年同期比39.1%増)となりました。また親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産売却損および連結子会社の減損損失により116百万円(前年同期比57.4%減)となりました。

Q 対処すべき課題を教えてください

A 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待されます。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクがあります。こうしたなかで、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。また、平成28年熊本地震の影響に与える影響に十分留意する必要があります。

電線事業においては、公共投資は緩やかな減少傾向にありますが、先行きは平成28年度予算の早期執行の影響などから徐々に下げ止まり、見通し期間の中盤以降は、オリンピック関連投資の本格化もあって、横ばい圏内の動きになると想定されます。また設備投資は、金融緩和に伴う実質金利の一段の低

下効果もあって、増加基調を続けると考えられます。このような状況のなか、国内外における新規案件の獲得やグループ全体での最適生産体制の追求等による原価の低減、顧客ニーズを踏まえた製品開発・改良および海外市場の開拓等に取り組む、業績向上に努めてまいります。

ポリマテック事業においては、関係の深い住宅市場は、このところ持ち直しが一服しており、先行きについては、当面横ばいで推移していくと見込まれます。このような状況を踏まえ、拡販案件の獲得、新規案件の取り組み速度を速め売上の積み上げを図るとともに、業務の効率化や原価低減にも引き続き取り組み、業績の回復・向上に努めてまいります。

電熱線事業においては、事業に関係の深い白物家電は、国内では安定した買換え需要により底堅く推移しており、海外では新興国の家電普及率の上昇を受け拡大傾向が続いておりませんが、家電メーカー間での厳しい価格競争を背景に採算改善に向けた製品見直しなどもあり今後の動向については留意を要します。また、中国経済の成長鈍化が引き続き見込まれることから、海外向けの販売を中心に厳しい状況で推移していくと見込まれます。

白物家電業界以外の新規分野開拓、新規顧客の獲得、取扱銅種拡大の取り組みを速めるとともに、一層のコスト削減と生産性向上に取り組み、早期に業績の回復・向上に努めてまいります。

また、この度の平成28年熊本地震によって被害を受けられた皆様には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

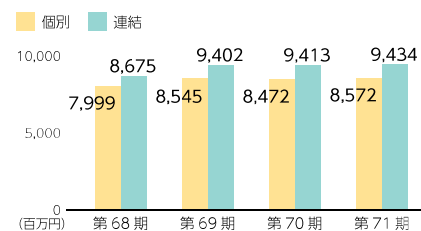
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

財務ハイライト

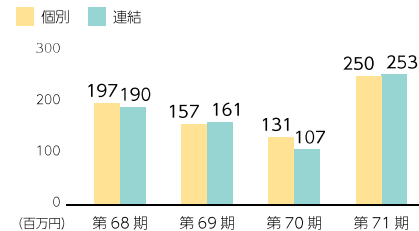
Financial Highlights

売上高



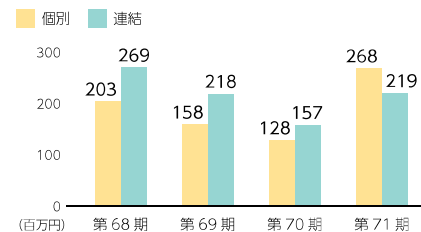
ポリマテック事業および電熱線事業で減収となったものの、電線事業で増収となり、前年同期に比べ増収となりました。

営業利益



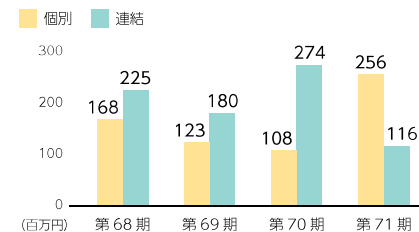
電熱線事業で減益となったものの、電線事業およびポリマテック事業で増益となり、前年同期に比べ増益となりました。

経常利益



前年同期に比べ増益となりました。

当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益

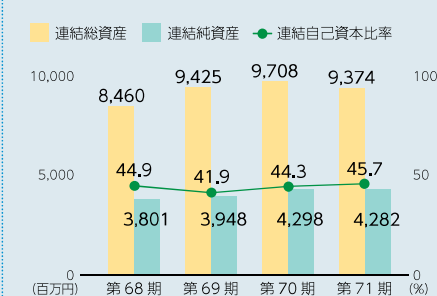


固定資産売却損および連結子会社の減損損失により、前年同期に比べ減益となりました。

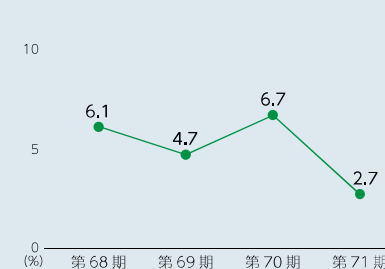
連結1株当たり当期純利益



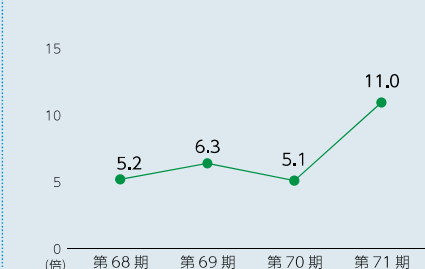
連結総資産／連結純資産／連結自己資本比率



連結株主資本利益率 (ROE)

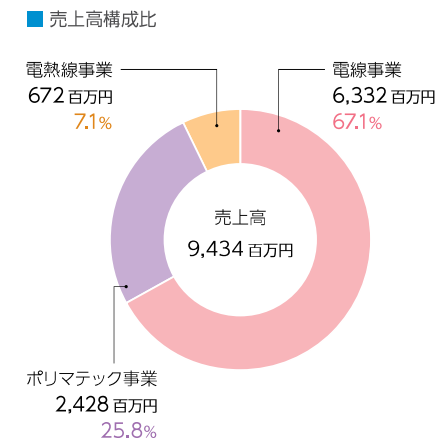
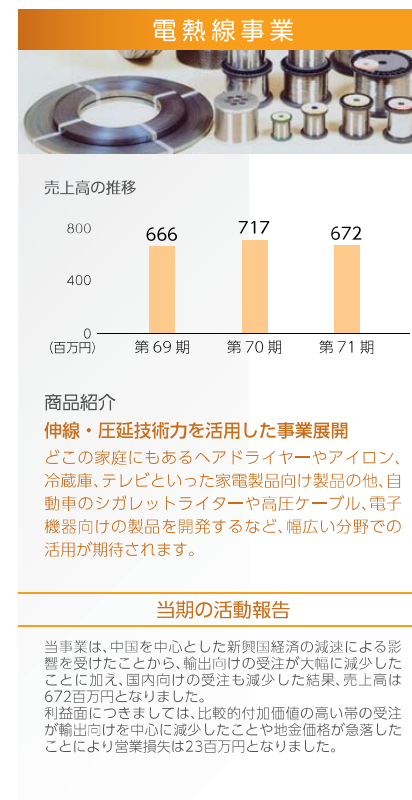
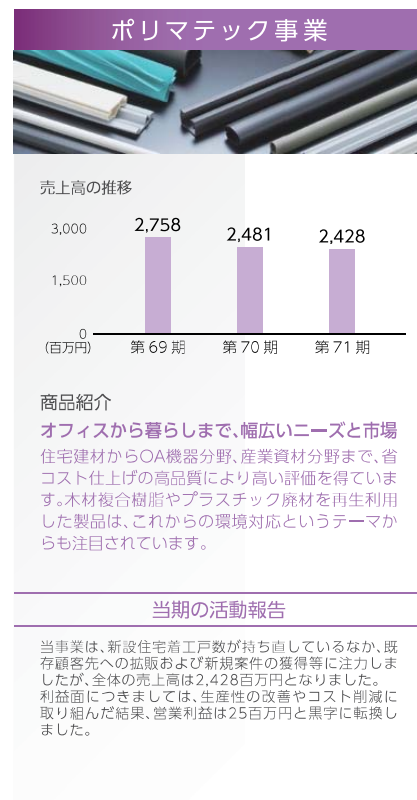
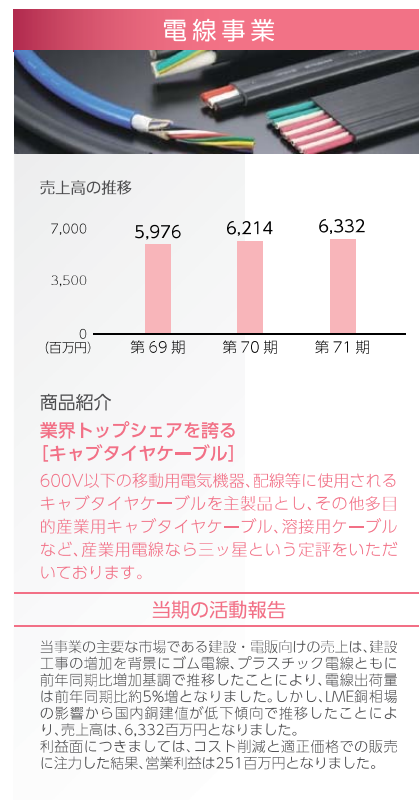


連結株価収益率 (PER)



事業別の概況

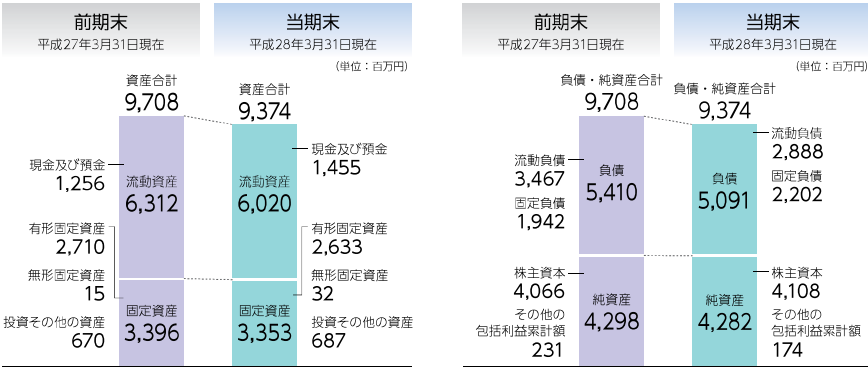
Segment Information



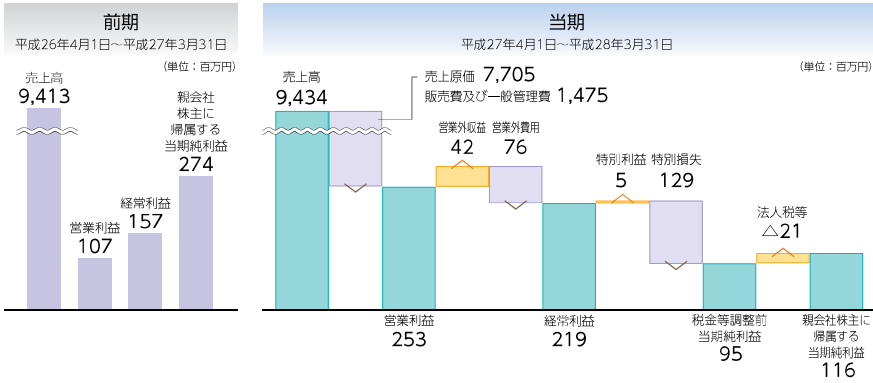
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

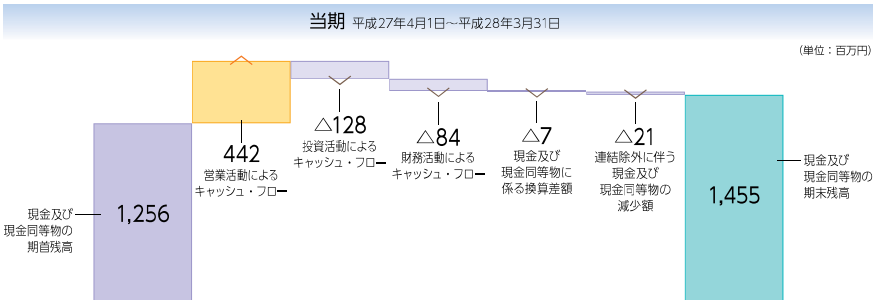
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



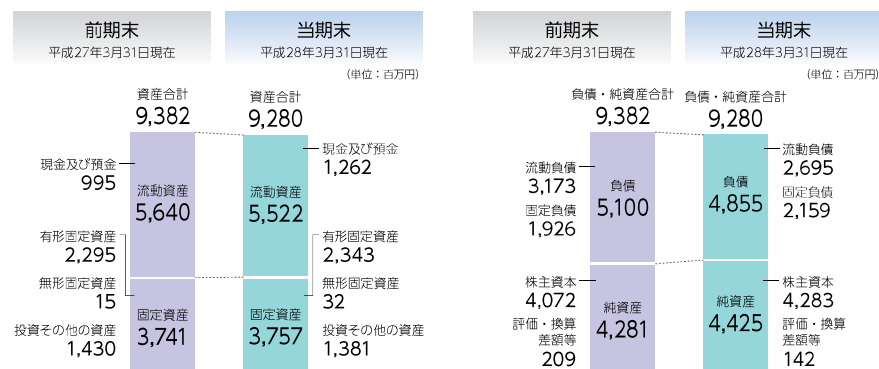
ポイント解説

- 総資産額**
 前連結会計年度末に比べ、3億34百万円減少し、93億74百万円となりました。
 これは主に、たな卸資産と受取手形及び売掛金の減少があったことによるものです。
- 負債総額**
 前連結会計年度末に比べ、3億18百万円減少し、50億91百万円となりました。
 これは主に、短期借入金と支払手形及び買掛金の減少があったことによるものです。
- 純資産総額**
 前連結会計年度末に比べ、15百万円減少し、42億82百万円となりました。
 これは主に、その他有価証券評価差額金の減少があったことによるものです。

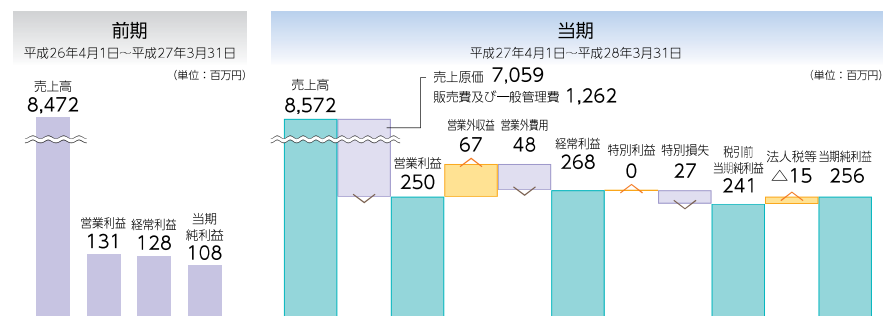
個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

■ 貸借対照表



■ 損益計算書



株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

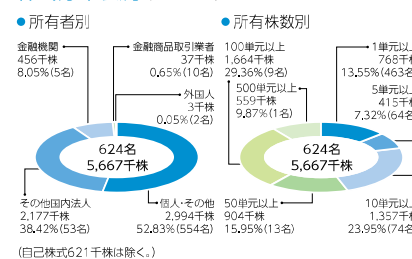
- 発行可能株式総数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 5,712,228株
(自己株式621,048株を除く。)

- 株主数 825名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	559,000	9.79
スリースター有限会社	463,150	8.11
加藤清行	211,000	3.69
株式会社三菱東京UFJ銀行	200,750	3.51
津田電線株式会社	193,261	3.38
三井住友信託銀行株式会社	147,000	2.57
阿部須美子	135,000	2.36
西崎ひとみ	115,229	2.02
三ツ星従業員持株会	100,425	1.76
三京化成株式会社	100,000	1.75

(注) 1. 上記のほか、当社が自己株式621,048株を保有しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (平成28年6月23日現在)

代表取締役社長	塚本 聡一郎	執行役員	岡橋 一 明
代表取締役副社長	競 良 一	執行役員	金城 安 弘
取締役会長(兼副)	塚本 洋 一	執行役員	松山 元
取締役(社外)	村 角 末 義	執行役員	片岡 潤 次
常務監査役	辻 田 光 博		
監査役(社外)	中 尾 巧		
監査役(社外)	辻 義 夫		

従業員の状況(当社グループ) (平成28年3月31日現在)

199名(108名)
従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



本社／大阪営業所



九州営業所



羽曳野工場

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION



滋賀工場

仙台営業所



東京営業所

名古屋営業所



シルバー鋼機株式会社

主要な事業所

当社

本 社 〒543-0001
大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号
TEL 06(6762)6953(代表)

大 阪 営 業 所 〒543-0001
大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号

(電 線 事 業 部) TEL 06(6762)6931(代表)

(ポリマテック事業部) TEL 06(6762)6934(代表)

東 京 営 業 所 〒271-0068
千葉県松戸市古ヶ崎二丁目3207-2

(電 線 事 業 部) TEL 047(360)2821(代表)

(ポリマテック事業部) TEL 047(360)2901(代表)

九 州 営 業 所 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

仙 台 営 業 所 〒983-0044
仙台市宮城野区宮千代三丁目5番12号
桜木ビル1階
TEL 022(239)1271(代表)

名 古 屋 営 業 所 〒465-0095
名古屋市中東区高社1-253
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061-3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽 曳 野 工 場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒140-0014
東京都品川区大井1-42-2
シルバービル
TEL 03(3773)9481(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
CAVITE,PHILIPPINES4114

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/ index.html

公告方法	電子公告により行います。 ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.kk-mitsuboshi.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
証券コード	5820

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。